



かじき

全ご家庭に、もれなく配布

第168号

45.5.14 発行

発行 鹿児島県始良郡
加治木町役場

編集 総務課

印刷 吉屋印刷所



雨が残した水たまりで遊ぶ子たち（江口団地で）



かしき

空輝き水輝きて立夏かな

立子

そよ吹く風もさわやかに、野や

山は草木の若芽が伸びて緑一色。五月は空、水、青葉の季節です。上旬はまったくの雨つづき。中旬からは、いわゆる「五月晴れ」を見ることも多くなりそう。下旬は、つゆ気味の天候があらわれ、じめじめした天気が続きそう。

ふと見る庭先に雑草が目立って伸びてきました。ひと雨降った翌日とか、露じめりの残った朝のうちが取りやすいものです。なんとしても雨の多くなる時期下水みぞなど、小さなことでも思わぬ災害を招くもの。用心が肝要

四億四千六百万円に
一般会計予算
本年度の一般会計予算

町民ひとり二万四千円の予算

児童手当など可決

三月定例町議会は、さる三月十日から三十日まで会期十九日間で開かれ、昭和四十五年度の予算案や四月から四人以上の児童をもつ家庭に支給される児童手当の新設など、二十二の議案と陳情七件の審議を行ない、それぞれの案件を承認、可決（陳情一件は委員会付託）しました。

町民のみなさんがたに、とくに関係の深い四十五年度の一般会計の予算額は、四億四千六百万円に決まりました。この予算については、曾木町長が議会の開会当日、新年度の施政方針のなかで説明しましたが、この内容については、原文のまま掲載して、すでに前号（特集）でみなさんにお配りしたとおりです。

この三月議会で承認、可決されたもののうち、おもなものを取りあげてみました。

□ 一般会計予算

予算総額は四億四千六百五十九万三千円です。歳出の内訳はそれぞれ（表）のとおりです。予算総表でおわかりのように、予算総

45年度 目的別一般会計予算	
□ 予算額 4億4,659万3千円 ■ 割合100パーセント	
◎ 町民1人当たり24,060円 (45.4.1現在の人口で計算)	
□ 1,254万5千円	□ 7,219万8千円
議会費 ■ 2.8パーセント	土木費 ■ 16.2パーセント
◎ 680円	◎ 3,890円
□ 1億444万4千円	□ 1,069万6千円
総務費 ■ 23.3パーセント	消防費 ■ 2.4パーセント
◎ 5,630円	◎ 570円
□ 2,622万2千円	□ 9,492万9千円
民生費 ■ 5.9パーセント	教育費 ■ 21.3パーセント
◎ 1,410円	◎ 5,110円
□ 2,541万1千円	□ 2,981万1千円
衛生費 ■ 5.7パーセント	災害復旧費 ■ 0.7パーセント
◎ 1,370円	◎ 160円
□ 3,573万9千円	□ 3,235万4千円
労働費 ■ 8.0パーセント	公債費 ■ 7.2パーセント
◎ 1,930円	◎ 1,740円
□ 2,609万3千円	□ 1千円
農林水産業費 ■ 5.8パーセント	諸支金 ■ /
◎ 1,410円	◎ /
□ 248万円	□ 50万円
商工費 ■ 0.6パーセント	予備費 ■ 0.1パーセント
◎ 130円	◎ 30円

額を町の四月一日現在の世帯数や人口で計算しますと、つぎのようになります。▽一世帯当たり 八万二千八十円 △町民一人〃 二万四千六十円

□ 国民健康保険会計

予算の総額は一億六十五万一千円です。前年度にくらべて二千三百九十二万七千円の増となつています。歳出について見ますと、国保に加入しているかたがたが、医師などにかかった場合に支払う費用や出産、死亡の際に支払う費用などの保健給付費が八千九百八十四万

3月議会から

円です。予算全体の八九パーセントを占めています。これは医療費の値上がりや若い人たちの都市への流出のため残るのは幼児、高齢者が大半という現状などからして、この給付費がかさむ原因だと思われまふ。このために財源に見合う保険料の税率改正もやむなく、二月の臨時議会で決めていただきました。つきに疾病予防費として八十万円をあげていますが、これは老人に対する入浴券の補助に三十万円と、インフルエンザの予防接種補助としての五十万円です。これは、とくにインフルエンザの流行を防ぐために予防接種料を、国保加入者は無料として町が、その全

額を負担しようとするものです。また保健衛生普及費としての三十二万五千円は、上場地区を重点に加入者の健康管理検診を行なうよう計画しています。検便、検尿、心電図などの精密検査を各個人について検診するものです。ことしは町税の納期の変更があり、国保税第一期分の納期限は七月になりました。税率の改正で税負担もかさむことになりましたが、現状をご理解ください。国保会計の運営に、ご協力をお願いします。

□ 水道事業会計

水道事業では、年々ふえていく給水量にこたえるため、既設配管の維持と支管を新しく設けるなどして、町民に対する給水の円滑な運営の確保に努力しています。本年度の予算総額は三千九百一十四万円となっています。業務予定としては、給水戸数を四月一日現在の四千八百を四千二百戸に、年間給水量を一〇八万二千立方メートルにしたいなど、計画しています。

建設改良事業として、崎森川の上流に一日平均の取水量一千立方メートルの水源池を造ること、また配水管の敷設工事二千五百メートルなどを計画しています。

水量は豊富、水質がよい、味がよい、安心して飲める使える加治木町の水道を、町民のみなさん十分にご利用ください。

◆条例関係

(制定や改正されたもの)
四人以上の子どもを扶養する世帯に児童手当を

四月から町内に居住して四人以上の子ども(義務教育終了前の児童)を扶養している世帯(保護者)に支給するものです。これまで国や県あたりでも、このことについて叫ばれていましたが、本年度もついに実現にいたりませんでした。

このため本町は、国などの実行を見るまで、町独自で、子どもたちの健全な成長に、少しでもお役に立つようとする目的で、支給するものです。手当ての額は年額六千円となっています。

尾之上さんの寄付金をもとに町育英奨学基金条例

この条例は、篤志家からの育英寄付金を基金として積み立てておき、これによって生ずる収益で、町内の優秀な子どもたちの育成にあてようとするもので、アメリカ在住の尾之上栄蔵さんからの寄付金百万円を基金として、さっそく始まりました。本年第一回めの貸費生も決定しました(五面掲載)

町長や議員などの給与、報酬アップ

町長、助役、収入役、教育長の給与と議員、各種委員会の委員

どの報酬および費用弁償の額を引き上げようとするもので、これについては町特別職報酬等審議会からの答申をもとにして提出されていたものです。別表のように改正されました。

消防団員の年報酬の額を引き上げる

消防団員は非常の場合、家事をすてて火災などの消火にあたり、わたしたち町民の生命、財産を身をもって守ってくれます。これらの職務に対して待遇の改善を少しでもはかるため、わずかではありますが、団員の年報酬額を四月一日から引き上げようとするもので、つぎのように改正されました。

区分	新 (円)	旧 (円)
区長	二二、〇〇〇	一九、〇〇〇
副団長	一四、〇〇〇	一二、〇〇〇
分団長	一四、〇〇〇	一〇、〇〇〇
副分団長	八、五〇〇	七、五〇〇
部長	七、〇〇〇	六、〇〇〇
班長	六、〇〇〇	五、〇〇〇
団員	五、〇〇〇	四、五〇〇

敬老年金の支給を満八十五歳以上に

町は四十一年度から、町内に居住するお年寄りのうち、満八十八歳以上九十歳までに五千円、百歳以上に一万円の敬老年金をお贈りしていましたが、一人でも多くの

お年寄りにお贈りするよう、こんど支給のわくを広げ、満八十五歳から敬老年金を支給することにして、これまでの条例をつぎのように改正したものです。

▽満八十五歳：八十七歳：三千円
▽満八十八歳：九十九歳：六千円
▽満百歳以上：………一万円

改正された特別職の給与・報酬額(月額)

職名	新 (円)	旧 (円)
町長	一三四、一〇〇	一一八、〇〇〇
助役	一〇四、一〇〇	九三、三〇〇
収入役	九四、四〇〇	八四、三〇〇
教育長	九四、四〇〇	八四、三〇〇
議長	三五、〇〇〇	三〇、〇〇〇
副議長	二九、〇〇〇	二五、〇〇〇
常任委員長	二六、〇〇〇	二二、〇〇〇
議員	二四、〇〇〇	二〇、〇〇〇
教育委員長	八、五〇〇	七、〇〇〇
委員	五、〇〇〇	四、五〇〇
農業委員長	一〇、〇〇〇	八、〇〇〇
委員	六、〇〇〇	五、五〇〇

町都市計画税の税率を引下げる

町都市計画税の税率は、百分の〇・一三で、町内全域について課税されていましたが、四十五年度の都市計画税からは課税の区域を縮少し、同時に税率も百分の〇・一に改めました。対象地区は下場(日本山下場を含む)となっています。

町職員の数

百六十五人に増

町職員の定数は、これまで町長事務部局をはじめ四つの部局を含め、百四十九人でしたが、四月から十六人ふやし、定数を百六十五

◆同意されたもの

収入役に

岩元房友氏を選任

三月末で任期満了となる町収入役の選任について、議会の同意を求めたもので、現収入役の岩元房友氏が四期目の町収入役として同意されました。

教育委員に

岩崎昭夫氏を任命

町教育委員の医師、志岐正治氏が家事の都合で辞任されたため、その後任に町内江湖の医師、岩崎昭夫氏を任命しようとするもので議会の同意を得ました。

◆陳情関係

(採択されたうち主なもの)

- 辺川校区代表から「辺川地区道路整備について」
- 於里部落自治会長はか三百三十一名から「町道々路舗装側溝実現方について(花城、加高間の町道)」
- 町PTA連絡協議会長から「昭和四十五年度教育予算について」の陳情書
- 須崎自治会長と浜村自治会長から「町道簡易舗装実施について」(須崎口バス停から須崎へ四百メートル)

取扱いに注意、保管は厳重に

農薬による事故を防ごう

ことしも農薬が多く使われる時期となってきました。農薬の保管取り扱いなどが、法に定められた正しい方法が守られなかったり、使用方法が適切でなかったため、本県でも毎年、死亡者を含め多くの事故が発生しています。とくに本県では、人畜に危害を与える農薬を、肥料や飼料などとまったく同じように注意もせず、無関心に取り扱われているようです。いくら豊作であつても家族などに農薬事故が発生すれば、なんにもなりません。農家のかたがたは、とくに次の事を必ず守り、危害を未然に防ぐようにして、農薬には細心の注意を払いましょう。

保管はこどもの手の届かない安全な場所に
 農薬の保管は、こどもの手の届かない安全な場所に「鍵」をかけて、まちがって用いたり、盗難、紛失など、しないように厳重にその場所に医薬用外毒物または劇物などの表示をしておきましょう。

使用後の容器の始末を確実に
 毒物または劇物に属する農薬または、その容器を捨てるときは、保健衛生上、安全な場所で焼けるものは焼き、そのほかのものは地下水に影響のない場所に、地下一

メートル以上深くうめるなどの処置を確実にしなければなりません。散布作業にはとくに注意を

散水機は、宮原農工水産部長や秋丸農副議長、前田農政課長、それに町内の関係団体、漁協組合員など大ぜいの人たちが参加して水揚げ場の完成を祝いました。

水揚げ場が完成

加治木漁協

加治木漁協では、県の沿岸漁業構造改善対策事業によって、漁獲物の水揚げ場の建設をすすめていきましたが、このほど完成したので、四月二十八日加治木港入口の現地で落成式が行なわれました。建物八一・〇六平方メートル、一枚。総事業費百万円。鉄骨造り

完成した漁協の水揚げ場



そのほか、作業の際の服装、器具、散布時の天候、その他の諸注意および農作物に付着した農薬による食中毒を防ぐための農薬の選定、散布量、時期などについて、毎年このことから注意事項を十分守り、事故防止に細心の注意を配りましょう。

便利になった出生や死亡等の届

四月一日から改正

出生や死亡届は、今まで出生したところ、あるいは死亡したところで、それらの届け出をしていました。

このほどこれらの届け出などが改正され、四月一日からは、どこ（本籍地・住所地）でも届け出ができるようになりました。

出生届は十四日以内。
 死亡届は七日以内。
 に届け出をされるようお願いいたします。また転入、転居されたかたは十四日以内にこれらの転入や転居の届けを住民課にしてください。

農業機械による事故を防ごう

春の農作業安全月間

五月十一日から六月十日まで、

「春の農作業安全月間」運動が県内いっせいに進まれています。昨年中に県内で発生した農業機械による事故の数は、死亡者十三人、重傷者七十人となっており、いかに農業機械による事故が多いかが、うかがわれます。事故の内訳は、つぎのとおりです。

- 耕うん機……死亡九・重傷四七
- 動力脱こ機………重傷七
- 農用特殊自動車………重傷一

- カッター………重傷八
 - その他（リヤカー牛車など）………死亡四・重傷七
- このような事故を農作業から防止するために、つぎのようなことを守るよう、つねに心がけたいものです。
- ▽踏み切りでは必ず、直前で停止し、安全を確認して進行する
 - ▽トレーラーに無理な積み荷をして運搬しない
 - ▽作業の始めと終わりには、機械の点検整備を行なう
 - ▽交通規則を正しく守る
 - ▽こどもたちが触れても、機械が始動したりすることのないよう常に安全を保つこと

永原・曲田・桃木野・桑迫

ことしの地籍調査

町では、三十九年度から国土調査法に基づいて地籍調査を行なっており、これまでに日木山、小田、辺川、嶽、菖蒲谷地区の調査を終えました。

ことし（四十五年）は永原、曲田、桃木野、桑迫地区三・二平方キロメートルを行なうことになりました。

地籍調査は、現在の土地台帳や字絵図を全面的に改正する重大な

仕事です。皆さんの土地の所有権を法的に確立しようとするもので、関係地区の皆さんが設置された境界杭（くい）の一本一本が、そのまま地籍図の線として記録され、しかもこれは今後、永久に境界を決定づける極めて重要な調査です。

この調査が順調にすすめられるよう、ご協力ください。

強く・たくましい子に

＝ 青少年を育てる春の運動 ＝



入園式当日の園児たち

幼稚園ができたヨ 錦江地区幼児、元気に通園

錦江校区民が長い間、待ち望んでいた錦江小の付属幼稚園の開所式および入園式が、さる四月十五日錦江小講堂で行なわれました。

四十名の園児たちは、渡されたる紺の上つばり長い間、待ち望んでいた錦江小の付属幼稚園の開所式および入園式が、さる四月十五日錦江小講堂で行なわれました。

加治木町青少年問題協議会では青少年が明るい環境のもとで新しい時代にふさわしい知識と技術を身につけて希望と意欲、強く、たくましく育つようにとする目的で「青少年を育てる春の運動」を推進することにしました。

- 青少年の体位、体力の向上と事故防止運動
- 家庭生活の健全化
- 青少年の非行防止と保護更正
- 社会環境の浄化整備運動
- 幼児教育の普及徹底

と鮮やかな黄色い帽子など着用、正装した姿にちよつと緊張さみ。それでも講堂での曾木町長や来賓の呼びかけに元気な返事をしていました。

町では、ことしの予算に、この幼稚園の建設費として三百六十万円を組んでいます。新しい園舎が完成するまで、ここ当分は錦江小の校舎の一部を使用して、保育することに なっています。園児たちは錦江小の兄さんや姉さんたちに見守られ毎朝、元気に通園しています。なお同園の保母には、つぎの二人の先生が任命されました。

○松田光子(前柁城小教員) 江湖
○別府香代子(鹿女子短大) 新町

今月の納税 固定資産税(第一期分)

町育英基金の第一回 めの貸費生に竹内君

アメリカ・ロスアンゼルスに住む、本町出身の尾之上栄蔵さん(八十四歳)からの寄付金百万円を基金に、篤志家のご寄付をもとに町は、町育英基金条例を設けました

お母さんの礼子さんは「特別なお金を、こどもが受けられたことでも感謝していただきます。とくに本人は感激していました。本人がこれを機会に、これからもウント勉強して、この育英基金に恥まないよう努力してくれることを信じています……」と話していました。



町内はやまの竹内時計店(店主哲夫さん)の長男良一君が選ばれ決定しました。良一君は加治木中を最も優秀な成績で卒業、この四月に加治木高校へ入学しました。加中在学中は陸上の運動選手として数

々の成績をおさめており、なかでも全国放送陸上記録会の三種競技、県で一位。鹿児島県中学選手権大会(三種競技)一位。日本新聞社から南日本スポーツ優秀記録章も受けています。

三十年勤続の 松尾さんなど 六名を表彰

県消防協会総会

日本消防協会会長から三十年勤続表彰状の伝達がありました。当日、表彰を受けた団員は、つぎのとおりです。

- 三十年勤続 松尾 直
- 二十年勤続 郡山利春
- 県功績章 大吉 操
- 県精勤章 竹下泰蔵
- 県精勤章 木場政昭
- 県精勤章 福元義治

火の用心
火事の注意も
家事のうち

政局の話題

うら・おもて

唐島基智三氏の講演会

さる四月二十三日、町と町商工会が催した「唐島基智三氏」の講演会は、町福祉センター大ホール



唐島さん話す口調で淡々とした

ルに、六百人を越す人たちが、つめかけ同氏の講演に耳を傾けていました。

唐島さんは、ご承知のように政治評論家として、またテレビ番組で政治座談会の司会をするなど、活躍されています。とくにヨド号事件の「ヨド号帰る」の番組での司会が、まだ私たちの記憶に新しいものとされています。

「七〇年の政局」と題して、物価問題や公明党出版問題、社会党大会、安保問題など、最近の話題を取り上げ、この中に政局のうらおもて、成り行き、裏話など、いくつかを折りませ一時間四十分にあわたっての講演でした。

準備した六百脚の椅子も間に合

わず、立ったままの聴衆もかなり多く見受けました。歯切れのよい唐島さん特有の淡々とした口調でトレード・マークの黒ぶち眼鏡をたえず、はずしたり、かけたたり、ゼスチャーまじりで聴衆に話しかける姿が、印象を深めたようです

大工さんの労賃が

一日二千二百円に

加治木土建組合（組合長溝口寛人）では、このほど総会を開き、諸物価の値上がりに伴ない、これまでの労賃をやむなく一日二千二百円に値上げすることを決めました。午前八時始業、午後六時終業で、建築の仕事についても、それぞれ研修を深めているということです。当組合では現状をご理解の上、利用者の皆さんのご協力をお願いしたいと呼びかけています。

香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- 金額 ご遺族 故人
- 五千元 福田市 橋口盛雄(母松下シゲ)
- 二千元 ヒナバ 志岐 忍(母コト)
- 二千元 上 内田虎次(父虎彦)
- 三千元 今町 松尾一鷹(父市太郎)
- 三千元 新開 松葉瀬サエ子(夫五男)
- 一万円 田中 大内山さち子(夫重義)
- 五千元 市来原 溝口久男(父豊蔵)
- 三千元 浜村 山元キク(夫国義)

一万円

小 陣 福島サヨ(夫敬蔵)

五千元 小 陣 中村光志(母マサ)

二千元 瀬戸口 山口貞雄(六男照秋)

一万円 育英資金へ

小 陣 福島サヨ(夫敬蔵)

○四月三十日までの、ご寄付を掲載しました。

「私の家は山の上にある一軒家です。いつも郵便やさんが、ここまで登って来て手紙を配達して下さるのは、ほんとにお気の毒でした。このごろ単車で来られますからホットしました郵便の仕事は、あたり前のことのようになっていて、私どもは空気が水と同じように思いますが、もし無いとしたら大へんなことです……」

これは、さる四月二十日、熊本市民会館で行なわれた郵政記念日の式典で、熊本市のさる小学校の子ども郵便局代表のある女子児童のお祝いのことばの一節だ。

この日、熊本郵政局では、監察局や電波監理局と共催で、管内の郵政功労者約八百五十名とその夫人を招待して、盛大な表彰式が行なわれた。加治木からも須崎の郵便局長徳丸春光さんが大臣表彰、本局の事務官杉木正義さんが局長表彰をうけた。また部外者として個人十名と十団体が局長から表彰されたが、この

チャンス

曾木隆輝



中に加治木町も含まれたので私も出席してその榮に浴した。私どもは郵政事業に特別お力添えしたわけではないが、今日の郵便やラジオ、テレビはもちろん、貯金や保険などが、町の公共事業の起債の裏付けとなって道路や学校、その他の建設の原資となっていることは、ありがたいことだ。局のみならず、皆さんの労苦を、私は表彰式場のステージにおりながら思い出さずにはおられない。世の中は、まわりもち、もっと協力せねばと思つた。パーティで、メンバーにいたので、山郵政局長や安田監察局長(始良町出身・旧制加中卒)に加治木郵便局守舎の早急な改築を篤とお願ひしたが、来年は予算化するよう考えたいので、中央にも働きかけてほしい。このことだ。チャンスをつかんで話し合いができてうれしかった。

春の農作業安全月間運動

五月十一日から六月十日まで